# 年表

紫：交流　青：映像　黄：プロダクト　朱：おもちゃ

## People

01 結婚当日のレイ 1941

02 クリスマスカード用の撮影、合板製の彫刻と/1944

03

04

上 ジョン・エンテンザとチャールズ&レイ
下 アレキサンダー・ジラルド邸/1954

05 チャールズ&エーロ・サーリネン/1940

06 イームズハウスとチャールズ&レイ/1956

07 イームズハウスでの茶会(1951) イサム・ノグチ、山口淑子やチャップリンらを招いた

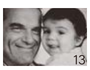
08 濱田庄司、オフィスにて 1963

09 レイと柳宗理 1978

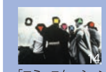
10 レイとイサム・ノグチ/1979

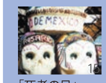
11 田園調布の猪熊弦一郎アトリエにて1950〜51年に届けられたアームチェアと 1981

12 チャールズの誕生日を祝うイームズ・オフィス 1960


13 チャールズと孫イームズ 1969

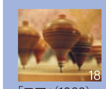
## Film

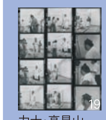

14 「コミュニケーション入門」(1953)より


15 「死者の日」(1957)より

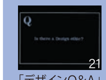
16 「バベッジの計算機」(1968)より

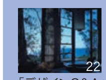
17 「バベッジの計算機」(1968)より


18 「コマ」(1969)より


19 力士・高見山大五郎の撮影、オフィスにて 1972

20 「コンピューター・パースペクティブ」(1969)より


21 「デザインQ&A」(1972)より


22 「デザインQ&A」(1972)より

23 「パワーズ・オブ・テン」(1968年版)撮影中のチャールズ

24 「パワーズ・オブ・テン」(1977)より

1940

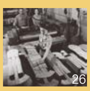
1950

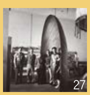
1960

1970

## Product

25 オーガニック・デザインコンペ より 1940


26 添え木の製造 1943


27 グライダー部品の前に並ぶ成型合板部門のスタッフ/1943

28 ダイニング・チェア・ウッド 1945

29 ダイニング・チェア・メタル 1946

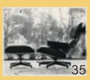
30 プライウッド・フォールディング・スクリーン 1946

31 オフィスのプラスチック・アームチェア(1950-53) ペイントはソール・スタインバーグによる

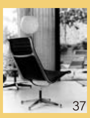
32 ワイヤー・メッシュ・チェア 1951-53

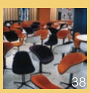
33 ハング・イット・オール/1953

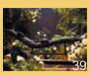
34 スタッキング・チェア/1955

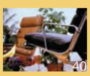

35 ラウンジチェア&オットマン(1956) イームズハウスにて撮影

36 アルミナム・グループ・チェアを制作するスタッフ 1957


37 アルミナム・グループ・チェア 1958


38 ラ・フォンダ・チェア 1961


39 ワイルダー・チェイス(1968) 映像「ソフトパッド」(1970)より


40 ソフトパッド・チェア(1969) 映像「ソフトパッド」(1970)より

## チャールズ & レイ

07 チャールズ・イームズ、ミズーリ州セントルイスに生まれる
12 バーナイス・カイザー(レイ)、カリフォルニア州サクラメントに生まれる
25 チャールズ、ワシントン大学建築科入学(28年退学)
29 チャールズ、キャサリン・ウォーマンと結婚
ヨーロッパ旅行にてモダニズム建築に触れる
30 チャールズ、セントルイスに建築事務所を開設
娘ルシアが生まれる
31 レイ、メイ・フレンド・ベネット・スクール入学(33年卒業)
33 レイ、画家ハンス・ホフマンの学校へ通う
34 チャールズ、事務所を閉めてメキシコ旅行へ

35 チャールズ、建築事務所を開設
チャールズ設計のセント・メリーズ教会が『アーキテクチュアル・フォーラム』に掲載される
エリエル・サーリネンとの交流がはじまる
36 レイ、AAA(アメリカ抽象芸術家グループ)の創設メンバーとなる
38 チャールズ、クランブルック美術アカデミーの特別研究員となる
39 チャールズ、同校にて講師を務める
40 レイ、クランブルックに通う
チャールズ、エーロ・サーリネンがMoMA主催「住宅家具のオーガニック・デザインコンペ」一等受賞
41 チャールズとレイ、結婚
カリフォルニアに転居し、リチャード・ノイトラ設計のストラスモア・アパートメントに住む
自宅にて成型合板を制作する実験をはじめる
チャールズ、MGM映画スタジオ美術部門ではたらく
42 プライフォームド・ウッドカンパニー設立
米国海軍から添え木と担架製造を委託される
レイ、『アーツ&アーキテクチャ(A&A)』誌の表紙デザインをはじめて手がける

43 ワシントン通り901番地にオフィスを移転
プライフォームド・ウッド・カンパニーがエヴァンズ社成型合板部門になる
44 チャールズ&レイ、『A&A』誌のプレハブ建築特集に参加
45 ケース・スタディ・ハウス・プログラムが『A&A』誌で発表される

46 「チャールズ・イームズによる新しい家具デザイン」展開催
ジョージ・ネルソンの推薦のもと、ハーマンミラー社がイームズ家具の量産を開始

47 チャールズ、ハーマンミラー社のデザインコンサルタントに就任
MoMA主催「プリント・テキスタイル・コンペ」入選
48 MoMA主催「ローコスト家具デザイン国際コンペ」入選
ハーマンミラー社のグラフィックを手がける(60年代まで)
ビリー・ワイルダー夫妻の新婚旅行に同行
49 ケース・スタディ・ハウス #8『A&A』誌で発表
チャールズ&レイ、イームズハウスへ引っ越す
「モダン・リビング」展に参加
ハーマンミラー社ショールーム内装を手がける(76年まで)

50 MoMA「グッド・デザイン」展に参加
ソール・スタインバーグ、イームズ・オフィスの家具にペイントを施す
イサム・ノグチから、剣持勇、猪熊弦一郎へプラスチック・アームチェアが届けられる(51年着)

51 チャールズ、アスペンの国際デザイン会議で講演
イームズハウスで茶会を開く
千宗興(15代千宗室)、イームズハウスを訪問

52 剣持勇、イームズハウスを訪問

53 UCLAにて「サンプル・レッスン」講演

54 濱田庄司、柳宗悦、バーナード・リーチ、イームズハウスを訪問
チャールズ、交換プログラムの一環でドイツへ旅行
映像「ブラックトップ」「パレード」が、エディンバラ国際映画祭で受賞
55 猪熊弦一郎、イームズハウスを訪問
チャールズ、ビリー・ワイルダー監督の、映画「翼よ!あれが巴里の灯だ」撮影に参加

56 柳宗理、渡辺力、勝見勝、イームズハウスを訪問

57 チャールズ&レイ、12月に初来日
インド政府より依頼されたレポートのためインドへ
ヴィトラ社、イームズの家具をライセンスで欧州に導入

41 ソ連・アメリカ博覧会にて「アメリカの光景」上映 1959

59 冷戦下のモスクワでマルチスクリーン・インスタレーション「アメリカの光景」発表
チャールズ、RIBA(英国建築家協会)とRCA(王立美術院)のためにV&Aで講演

60 東京・伊勢丹百貨店でハーマンミラー社の展覧会開催
チャールズ、英国王立技芸協会から名誉国家産業デザイナーの称号を受ける

61 レイ、単身で来日
「マスマティカ」展をはじめ、IBM社の科学技術展覧会をプロデュース

42 「マスマティカ」展 1961

64 ニューヨーク万博IBMパビリオンをプロデュース

65 松屋銀座にて「イームズの仕事」展
日本デザインコミッティー主催・剣持勇が担当

43 ニューヨーク万博 IBMパビリオン外観 1964

44 ニューヨーク万博 IBMパビリオンのマルチスクリーン 1964

69 テレビ特番「Profile of Charles Eames」放映
チャールズ&レイ、学習の新しいアプローチを提案するMITレポートの制作に着手

70 チャールズ、ニクソン大統領から米国美術評議会委員に任命される
英国マンチェスター工科大学名誉フェローとなる
ハーバード大学チャールズ・エリオット・ノートン記念講義

45 「コンピューターの遠近法」展 1971

46 「フランクリンとジェファーソンの世界」展 1975

75 ペリー・ミラー・アダトによる映画「イームズ・セレブレーション」公開
「ネルソン/イームズ/ジラルド/プロプスト」展開催
76 「コネクションズ:チャールズ&レイ・イームズの仕事」展がアメリカ、ヨーロッパを巡回

77 レイ、カリフォルニア科学・産業博物館よりウーマン・オブ・ザ・イヤー受賞
チャールズ&レイ、国際グラフィック連盟に加盟

78 チャールズ、アスペン国際デザイン会議にて講演
レイ、三度目の来日
8月21日、故郷セントルイスにてチャールズ逝去

79 RIBA(王立英国建築家協会)からチャールズ&レイへ金メダル授与

84 レイ、パーソンズ美術大学・オーティス美術研究所から名誉博士号を授与される

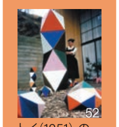
88 8月21日、ロサンゼルスにてレイ逝去

Exhibition

29 世界大恐慌
33 ナチス政権獲得 ニューディール政策
39 第二次世界大戦 ～1945
49 NATO成立
50 朝鮮戦争 ～1953
51 サンフランシスコ講和条約
60 ベトナム戦争 ～1975
67 第三次中東戦争
69 アポロ11号月面着陸
70 大阪万博
73 オイル・ショック

## Toy

51 プライウッド・エレファント 1945


52 トイ(1951)のプロトタイプとレイ

53 ハウス・オブ・カード/1952

54 ソーラー何もしないマシン 1957

55 「おもちゃの汽車のトッカータ」(1957)に使われた玩具

56 「マスマティカ」展のための算数ゲーム/1961

57 コンピューター・ハウス・オブ・カード 大阪万博IBM館のために制作 1970

## 作品

47 チャールズ設計 セント・メリーズ教会

48 クランブルック美術アカデミー(1976撮影)

49 レイによる『A&A』1942年4月号表紙

50 夫妻が住んだストラスモア・アパートメント(ノイトラ設計)

41 ●カザム!マシン(成型合板試作機械)
●レッグ・スプリント(傷痍兵の脚の添え木)開発
●オーガニック・チェア(チャールズ、エーロ・サーリネン)

42 ●プライウッド・スカルプチャー
●『A&A』誌表紙6点(レイ)
43 ●成型合板によるグライダー・飛行機部品
●『アーキテクチュアル・フォーラム』誌のための市民ホールプラン(チャールズ、ジョン・エンテンザ)
●『A&A』誌表紙10点(レイ)
44 ●『A&A』誌表紙8点(レイ)
45 ●スライド・ショー「レクチャー」
●LCW(Lounge Chair Wood)
●DCW(Dining Chair Wood)
●チルドレンズ・チェア ●チルドレンズ・スツール
●プライウッド・エレファント
●ファブリック「クロスパッチ」(レイ)
46 ●LCM(Lounge Chair Metal)
●DCM(Dining Chair Metal)
●CTW(Coffee Table Wood)
●CTM(Coffee Table Metal)
●FSW(Folding Screen Wall) ●ケース・グッズ
●プライウッド・ラウンジチェア
●成型合板のラジオ筐体
47 ●プライウッド・フォールディング・テーブル
●シー・シングス・トレイ
●『A&A』誌表紙2点(レイ)
●「ジェファーソン・ナショナル・エクスパンション・メモリアル」コンペ
48 ●ラ・シェーズ ●ハーマンミラー社グラフィック
49 **●ケース・スタディ・ハウス #8(イームズハウス)**
●ケース・スタディ・ハウス #9(エンテンザ邸)
●ハーマンミラー社ショールーム
●住宅建築についての未編集フィルム
●「モダン・リビング」展のためのルームセット

50 ●映像「旅する少年」
●ESU(Eames Storage Unit)
●プラスチック・アームチェア
●プラスチック・サイドチェア ●ロー・ワイヤー・テーブル
●マスク ●ワイルダー邸(計画)
●カーソン・ピリー・スコット百貨店ショーウィンドウ
51 ●ワイヤー・ソファ ●ワイヤー・メッシュ・チェア
●ETR(Elliptical Table Rod Wire Base) ●トイ
●クイックセット・ハウス(提案)
●メイシーズ百貨店ディスプレイ
52 ●映像「ブラックトップ」「パレード」
●サンプルレッスンのためのラフスケッチ
●ハウス・オブ・カード ●リトル・トイ
●フィリップ・ダン・オフィス ●ハーマンミラー社混声合唱のためのローブのデザイン(レイ)
53 ●映像「コミュニケーション入門」「パン」「カリグラフィ」
●スライド・ショー「レイルロード」「シースケープ」「タウンスケープ」「ロードレース」
●サンプルレッスン(ジョージア大学、UCLA)
●ハング・イット・オール
●ジャイアント・ハウス・オブ・カード
54 ●映像「S-73」
●スタジアム・シーティング ●ソファ・コンパクト
●コンパクト・ストレージ
●マックス・デプリー邸

55 ●映像「ハウス：5年後の記憶」「インドのテキスタイルと装飾芸術」「ドイツのバロック教会」
●スライド・ショー「コンディトライ」
●スタッキング・チェア ●カラーリング・トイ
56 ●映像「イームズ・ラウンジ・チェア」
●ラウンジチェア&オットマン
●スティーブン社スピーカー
57 ●映像「死者の日」「おもちゃの汽車のトッカータ」「スターズ・オブ・ジャズ」「インフォメーション・マシン」「翼よ!あれが巴里の灯だ」(編集)
●ソーラー何もしないマシン
●グリフィスパーク・ミニチュア鉄道
58 ●インド・レポート
●映像「空港の拡張」「ド・ゴール・スケッチ」「ブリュッセル万博のハーマンミラー社」
●アルミナム・グループ

59 ●映像「カレイドスコープ・ショップ」「タイム&ライフ社インターナショナルロビー」
●レヴェル社のトイハウス

60 ●映像「カレイドスコープ・ジャズ・チェア」「フィードバック入門」
●番組「すばらしき50年代」のための映像
●タイム・ライフ・チェア ●ウォールナット・スツール
●タイム&ライフ社ロビー

61 ●「マスマティカ」展
●「マスマティカ・ピープショー」のための映像
●映像「ECS」
●スライド・ショー「ティヴォリ」
●エグゼクティブ・チェア ●ラ・フォンダ・チェア
●ECS(Eames Contract Storage)

62 ●番組「素晴らしき日々」のための映像
●映像「ハウス・オブ・サイエンス」「博覧会前夜」「IBM博覧会プレゼンテーション #1」「IBM博覧会プレゼンテーション #2」
●タンデムスリング・シーティング

63 ●タンデムシェル・シーティング
64 ●ニューヨーク万博「IBMパビリオン」展示・映像ショー
●映像「ハウス・オブ・サイエンス」「THINK」「トラックテスト」●スクール・シーティング
●3437 ソファ ●セグメンテッド・ベース・テーブル

65 ●「ネルー」展
●映像「スミソニアン協会」「博覧会のIBM」「アルファベット順によるウェスティングハウス社」「IBMパペットショー」
66 ●映像「ピープルウォールからの眺め」「最先端」「地平線」●年譜「近代の数学者たち」
●スミソニアン博物館メリーゴーランド(提案)
● 国立水族館(提案)
67 ●映像「水族館」「シュウツの計算機」
●スライド・ショー「ピカソ」「G.E.M.」「ハーマンミラー・インターナショナル」
●年譜「ハーマンミラー・インターナショナルの歴史」

68 ●「写真と都市」展
●映像「パワーズ・オブ・テン:ラフ・スケッチ」「リック天文台」「コンピューター用語解説」「IBMミュージアム」「バベッジの計算機」
●インターメディエイト・デスクチェア
●ソフトパッド・チェイス(ビリー・ワイルダー・チェイス)
●IBMプレゼンテーション・センター
69 ●「デザインとは?」展
●ソフトパッド・グループ
●映像「都市のイメージ」「コマ」「軟体動物」
●小冊子『国立漁業センター&水族館』

70 ●映像「ソフト・パッド」「ファイバーグラス・チェア」「黒船」「小さなクラゲ」
●ドラフティング・チェア
●コンピューター・ハウス・オブ・カード
71 ●「コンピューターの遠近法」展
●映像「道化師」「ジョニー・ピアーの道化師の顔」「コンピューター・ランドスケープ」
●ルースクッション・アームチェア
●ツーピース・プラスティック・チェア
72 ●「ウォーレス・ジョン・エッカート」展
●「コペルニクス」展 ●「フィボナッチ」展
●映像「コンピューターの遠近法」「バナナ・リーフ」「スモウ・レスラー」「デザインQ&A」「SX-70」「ケーブル」「アルファ」
73 ●「移動祝日と変わるカレンダー」展
●「巨人の肩に乗って」展 ●「アイザック・ニュートン」展
●映像「フランクリンとジェファーソン」「コペルニクス」「指数」「代数学における2つの法則」「2つの石」
●書籍『コンピューターの遠近法』
74 ●「フィロソフィカル・ガーデン」展
●映像「ニュートンの法則」「カロ」「ケプラーの法則」
●ニュートン・カード
75 ●「フランクリンとジェファーソンの世界」展
●映像「メトロポリタン・オーバービュー」

76 ●「初期アメリカのイメージ」展
●映像「フランクリンとジェファーソンの世界」「写真について」「アトラス」「アメリカの姿」
●スライド・ショー「トール・シップ」
●書籍『フランクリンとジェファーソンの世界』
77 ●スライドショー「イノベーション」「イノベーション2」
●映像「ドーミエ」「ポラヴィジョン」「パワーズ・オブ・テン」
●IBM590企業展示センター(提案)
78 ●映像「メトロポリタン美術館のドガ」「セザンヌ」「ソナー」「マーリンとタイムモビル」「アート・ゲーム」「ポラビジョン短編」
79 ●映像「IBM展覧会センターについてのレポート」
81 ●映像「グッズ」
82 ●書籍『パワーズ・オブ・テン』
84 ●イームズ・チーク&レザー・ソファ
89 ●書籍『イームズ・デザイン』(レイ・イームズ、ジョン・ニューハート、マリリン・ニューハート)
90 ●映像「901:45年間の仕事の後」(イームズ・デメトリアス)

## 世界の建築・デザイン

建築：竣工年 その他：発表年

10 ●フランク・ロイド・ライト「ロビー邸」
22 ●ルドルフ・シンドラー「シンドラー自邸+スタジオ」

25 ●マルセル・ブロイヤー「B3」
27 ワイセンホーフ・ジードルンク
28 第1回近代建築国際会議(CIAM)
29 ●ミース・ファン・デル・ローエ「バルセロナ・パビリオン」
●リチャード・ノイトラ「ロヴェル邸」
31 ●ル・コルビュジエ「サヴォア邸」
32 ●アルヴァ・アールト「パイミオ・チェア」
33 ●アルヴァ・アールト「パイミオのサナトリウム」
35 ●土浦亀城「土浦亀城自邸」

37 ●フランク・ロイド・ライト「落水荘」
●ハーウェル・ハミルトン・ハリス「エンテンザ邸」
38 ●ヴァルター・グロピウス「グロピウス邸」

39 ●マルセル・ブロイヤー「ブロイヤー邸」
●アルヴァ・アールト「マイレア邸」
40 ●フィン・ユール「ペリカン・チェア」

42 ●エリエル・サーリネン「クランブルック美術アカデミー」(25年より計画)

47 ●イサム・ノグチ「ノグチ・テーブル」

48 第1回国際建築家連合(UIA)会議
●ルイス・バラガン「バラガン自邸」
●ジョージ・ネルソン「ボール・クロック」
●リチャード・ノイトラ「ケース・スタディ・ハウス #20」
49 ●フィリップ・ジョンソン「ガラスの家(ジョンソン自邸)」
●ハンス・ウェグナー「Yチェア」

50 ●ラファエル・ソリアーノ「ケース・スタディ・ハウス #1950」

51 アレキサンダー・ジラルド、ハーマンミラー社に参加
●ミース・ファン・デル・ローエ「ファンズワース邸」
52 ●清家清「斉藤助教授の家」
●ハリー・ベルトイア「ダイアモンド・チェア」
●アルネ・ヤコブセン「アントチェア」
53 ウルム造形大学設立
●クレイグ・エルウッド「ケース・スタディ・ハウス #16」
●広瀬鎌二「SH-1」

54 ●ポール・ルドルフ「アンブレラハウス」
●清家清「私の家」

55 ●ル・コルビュジエ「ロンシャンの教会」
●前川國男・坂倉準三・吉村順三「国際文化会館」

56 第6回アスペン国際会議
●柳宗理「バタフライ・スツール」
●エーロ・サーリネン「チューリップ・チェア」
57 ●ジオ・ポンティ「スーパーレジェーラ」
58 ●菊竹清訓「スカイハウス」
●内藤多仲、日建設計「東京タワー」
●バフ、ストラウブ&ハンスマン「ケース・スタディ・ハウス #20」
●ピエール・コーニッグ「ケース・スタディ・ハウス #21」

59 ●ル・コルビュジエ「国立西洋美術館」
●フランク・ロイド・ライト「グッゲンハイム美術館」

60 第1回世界デザイン会議(東京)
●オスカー・ニーマイヤー「ブラジリア議事堂」
●ピエール・コーニッグ「ケース・スタディ・ハウス #22」
●キリングワース、ブレディ&スミス「ケース・スタディ・ハウス #23」
61 エーロ・サーリネン逝去

63 ●ハンス・シャロウン「ベルリン・フィル・ハーモニー」
●エーロ・アールニオ「ボールチェア」
●ジョン・ロートナー「ゴールドシュテイン邸」
64 ●丹下健三「国立屋内総合競技場」

65 ●ルイス・カーン「ソーク研究所」

67 ●バックミンスター・フラー「モントリオール万博アメリカ館」
●レーモンド・キャピー「キャピー邸」
●ヴェルナー・パントン「パントン・チェア」
68 ●エットーレ・ソットサス、ペリー・キング「バレンタイン・タイプライター」

70 ●丹下健三「日本万国博覧会・基幹施設」

72 ●黒川紀章「中銀カプセルタワービル」

73 ●ヨーン・ウツソン「シドニー・オペラハウス」

76 ●ミノル・ヤマサキ「ワールド・トレード・センター」
●安藤忠雄「住吉の長屋」

77 ●レンゾ・ピアノ、リチャード・ロジャース「ポンピドゥー・センター」

78 ●ノーマン・フォスター「セインズベリー美術センター」